

阿知須町民憲章

- 一、勤労を尊び、奉仕の精神で励みます。
- 一、スポーツに親しみ、健康で明るいくらしを築きます。
- 一、生涯を通して学び、うるおいのある生活を求めます。
- 一、きまりを守り、温かい心のふれあいを広げます。
- 一、伝統と自然を大切に、住みよいまちをつくります。

平成10年
No.556

4/5

〒754-1292 山口県吉敷郡阿知須町
発行：阿知須町役場
TEL:0836-65-4111

広報あじす…毎月5日発行
お知らせ版…毎月20日発行



さようなら…岩倉保育園



町長のあいさつを聞く園児たち



園舎をバックに記念写真

三月三十日、町立岩倉保育園では、岩倉保育園お別れ式が行われました。町立保育園の統合に伴い、旧岩倉保育園の園児があじす保育園（旧砂郷保育園の園舎）に通うことになるため、最後の催し。岩倉保育園に通うのはこの日まで。式が終わると全員で記念写真。その後子どもたちは、名残惜しそうにようすも見せず、しばらく無邪気に遊んでいました。

施・政・方・針

三月に開かれた平成十年第一回目の町議会定例会で、飯田宏史町長は、議案審議に先だつて施政方針を述べました。その主な内容を紹介します。

皆様には平素から町政について格別のご理解とご協力をいただいていますことに厚くお礼申し上げます。

次々と山口県一が

本町の状況をみますと「小さな町の大きな挑戦」として全国に話題を提供してきました「サンパークあじす」は、昨年の三月二十日オープン以来二周年を迎えますが、盛況を呈しています。その間、波及効果や地理的条件が見直されたことなどにより住宅建設の増加や雇用の拡大が見られ、この二年間に百九十八世帯・人口三百七十五人の増となっています。人口は四・六%の伸び率で県内ではトップクラスです。また昨年発表された事業所統計では五年前と比較して六十九事業所（一九・一%）

増えて四百三十事業所となり、その伸び率は県下一です。加えて、昨年六月に行われた商業統計調査でも三年前と比べて商店数、従業員数、年間商品販売額とも大幅に増え、県下一の伸び率を示しています。

私は三年前の町制五十五周年に合わせて「ゴ・ゴ・山口県一運動を提唱し、以来この推進に努めています。その中から長寿日本一が誕生したり、婦人防火クラブや綱引きなどチームプレイで全国大会に出場したりし、また人口、事業所、商業など数字で物語るものなど次々と山口県一が誕生しています。人も物も山口県一をという願いは、今後も町民運動として推進したいと思っています。それぞれの分野でみなさんの一層のご活躍を期待します。

西部リゾート計画の再検討

本町は二十一世紀を目前にして今後さらなる発展をめざしますが、その中で西部丘陵森林リゾート計画は、計画の再検討が行われ、本格的工事が始まります。江畑地区での計画は宇部カントリークラブ四つ目のゴルフ場となりますが、池や湿地帯を十分に生かした自然や環境にやさしい設計となっていて、平成十二年の秋オープンをめざして工事が進められます。これが完成すると名実ともに西日本一のゴルフ場となります。また青畑地区の計画については野外レクリエーションのほか生産飲食施設を整備して集客をはかることが具体化しました。これらは第二次阿知須町基本構想の趣旨に沿ったものであり、町としても活性化へ向けて支援したいと考えています。

夢広がる干拓地

「エコランドあじす」（阿知須干拓地）についてですが、昭和六十三年度からはじまった干拓地埋め立て工事は平成九年度でしゅんせつ土の吹き込みを終りました。あとは北工区の覆土工事を残すのみとなっています。現在、干拓地

内でセンター道路（縦貫線の延長）と南工区外周道路の工事が進んでいて平成十二年度中には完成の予定です。また県が北工区内の三十ヘクタールを確保してつくる自然観察公園は十二年度までに整備し「二十一世紀未来博覧会」開催に合わせて開園の予定です。県と県博覧会準備委員会では、基本構想の策定と併せ組織体制の整備・各種の準備を進めてきましたが、四月一日に博覧会協会を発足し、本格的に事業推進が図られることとなります。本町では、博覧会町推進会議を中心として町民への説明会を開催するなどの啓蒙普及に努めるとともに関連事項の検討を続けてきました。本町としてはこの干拓地を舞台としたリーディングプロジェクトを町勢のさらなる伸展の好機ととらえ、県・関係団体・各市町村とともに取り組み、本年四月の町推進本部への組織整備やそれに引き続き地域と一体となった町推進委員会を発足させます。

十年度予算は積極的に

平成十年度の予算関係ですが、国の行財政改革が進められ地方自治体を取り巻く環境

も地方分権が進んでいます。本町は「サンパークあじす」の開業と、それに伴う波及効果による税収の伸びはあるものの国・県の補助金の減額や地方交付税の伸びもあまり期待できない中で、経常的経費が増え厳しい予算編成を強いられました。しかし限られた財源を重点的かつ効率的に配分するため、国や県の補助金などの財源確保に努め、国の地方財政計画の伸び率ゼロ、県の一般会計予算は三・四%の伸びという中で本町は対前年度比九・一%の伸びと積極的予算を編成しました。そして町の第二次基本構想にある「ゆとりの中で活力と創造性を育む交流の町あじす」の実現に向けて努力するとともに「動く阿知須」「伸びる阿知須」「きらめく阿知須」「喜びあふれる阿知須」そして私たちが「誇りとする阿知須」を創造するために議会や町民のみなさまと一体となつてまい進したいと思っています。福祉の向上と地域活性化のため、諸施策の遂行に懸命に努力してまいりますので、深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

具体的な施策

ここでは、具体的な施策の主なものを紹介します。(新規事業は●)

快適で住みよい住環境づくり

- 簡易水道時代の老朽管布設替えを公共下水道工事に併せて実施
- 公共下水道工事は、第一次事業認可区域を五ヘクタール拡大して推進中
- 下水道事業認可区域外の個人住宅に合併浄化槽設置助成制度を実施中
- 市街地側溝改修は、砂郷地区、日地区を予定
- ごみの分別収集や容器リサイクル事業、資源再利用化事業の推進
- 河内区のごみ集積所工事

魅力あふれる都市基盤づくり

- 町道「青畑・瀬戸原線」の改良と車道の舗装工事
- 駅前広場から駅前信号機までの歩道を二・五mから三・五mにし、ゆとりと空間のある歩道に
- 町道「仙在」河内線（通称「河内農免」）の歩道設置と車道拡張工事
- 町道「旦々野口線」「犬の森」仙在線（井関地区）の改良
- 井関橋の架け替えと拡張工事（県事業）
- 堂田水路改修工事（南祝から前山）

心のかよう福祉と健康づくり

- 保育園を統合して乳幼児保育などの充実
- 学童保育を新規に開設
- 身体障害者のスポーツ・レクリエーションや地域活動の推進事業
- 心身障害者福祉作業所「希望の館」の運営・助成
- 心身障害者や母子家庭の就学就職支度金支給事業
- 老人クラブの充実
- ホームヘルプサービスや在宅介護相談などの充実
- 介護保険のモデル事業
- 敬老年金支給事業
- 人口定住策として第三子以上の出生祝金
- 母子保健推進員の協力をえて健康教育や相談・疾病予防
- 成人病予防施策の推進
- 移送サービス事業（移動手段のない要介護者を社会福祉施設などに移送）
- 社会福祉協議会にコンピュータを導入
- 保育所施設の用地造成

心豊かな青少年の育成と生きがいのある生涯学習まちづくり

- 子どもたちが人間らしく生きることの大切さを学ぶ教育
- 希望と生きがいのある生涯学習まちづくり
- 小学四、五、六年生の副読本の改訂
- 井関小学校の運動場拡張整備
- ダイオキシン対策で各学校にシュレッダー（裁断機）を備え付け
- 生涯学習内容の内容及機会を充実
- 地域活性化推進事業の推進など
- 町公民館に外国語講座を新設
- 楽しく体力づくりができる学び参加できる教室や大会の開催
- 阿知須小学校の空き校舎を利用して民俗文化財や歴史資料の展示

行財政運営

- 行政サービスの向上
- 要望の多い生活関連事業や投資的事業は九億二千四百万円を計上（対前年比三十八%増）
- 二十一世紀未来博覧会推進事業として開催日までの残日表示計やプレイベント、PRなどの費用に六百五十二万円を計上

心のかよう地域づくり

- あじすの宝箱事業として、二の宮地区に「コミュニティセンター」を建設
- 源河公民館の移転工事

活力ある地域産業づくり

- 県営ほ場整備事業の推進
- 営農意欲のある人に助成
- つくり育てる漁業をめざし研究費などの振興助成
- 商店街空き店舗等活用事業や特産品開発事業に助成
- まつりやイベントを支援
- 熟年式の実施
- 宇部興産ゴルフトーナメントを町の一大イベントに

平成10年第1回町議会定例会

平成10年の最初の町議会は、3月5日から19日まで開かれました。町長提出24議案と議員提出1議案、そのほか6件などが審議され、請願を除く全てが原案どおり可決されました。

主な案件は次のとおり。

【財産の処分について】

源河区の町有地などを県の縦貫線工事のため売却。

【町同和地区住宅資金貸付事業特別会計の廃止】

国の法律改正で住宅資金貸付制度がなくなったため。現在償還中のものは一般会計に引き継ぎます。

【町選挙公報の発行に関する条例の一部改正】

公職選挙法の改正により、公報の字数制限を撤廃。

【町上水道使用条例の一部改正】

主に水道法の改正によるもの。指定業者の拡大、給水装置などの指示が可能になったこと、指定料や手数料の料金改定など。

【町消防団条例の一部改正】

出務手当1回5,000円を5,500円に改定。

【町報酬及び費用弁償条例の一部改正】

町議会議員をはじめとする町の非常勤職員の報酬、費用弁償を改定。なお、町長・助役・教育長は変更なし。

【町税条例の一部改正】

所得税特別減税措置によるものと災害にあったときの町民税の減免。

【町国民健康保険税条例の一部改正】

現在、所得や資産の多い世帯の負担の比率が高いため、2年間で県平均に近づけるといふものと、災害にあったときの国保税の減免。

【町立保育所条例などの一部改正】

砂郷保育園と岩倉保育園を統合し、名称を「あじす保育園」とし、場所は、砂郷保育園のあった場所にすなど。

【9年度補正予算】

一般会計は、7,496万1,000円減額し、36億5,161万5千円に。特別会計は、国民健康保険事業、老人保健、交通災害共済事業、土地取得をそれぞれ事業に応じて減額補正。町水道事業会計は、収益的収支を減額補正で資本的収支を増額補正。

【10年度予算】

5ページに掲載

【町議会議員定数条例の一部改正】

現在の定数18人を16人にするもの。

【決議・請願】

「JR阿知須駅の土・日曜日の停留所（無人化）の実施計画を撤回することを要望する決議」（可決）

「阿知須町立岩倉保育園の存続を求める請願書について」（不採択）

ちょっと気になる

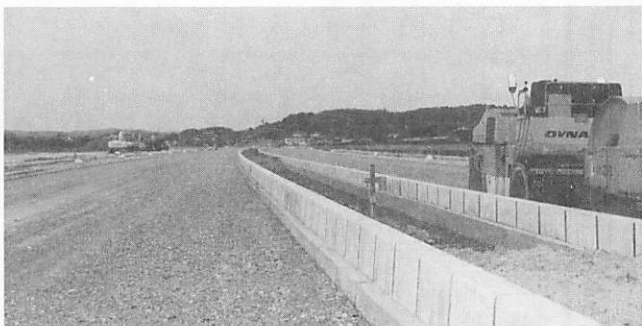
21世紀未来博覧会 と 干拓関連の事業

●21世紀未来博覧会開催事業（県予算：4億5,000万円）…博覧会開催に向けて準備が着々と進められます。

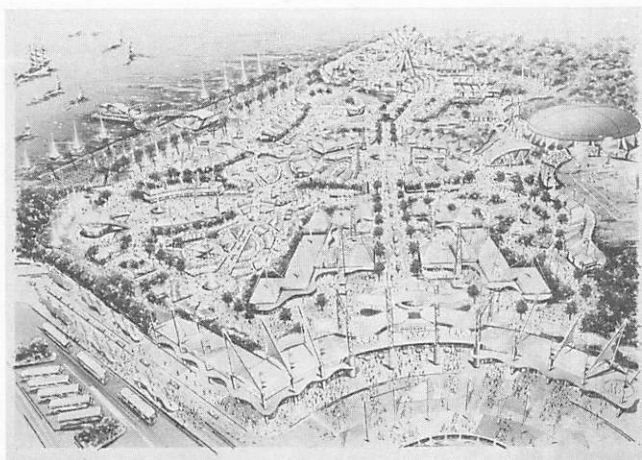
●スポーツ交流ゾーン整備事業（県予算：25億7,200万円）…干拓地の南工区にあたるスポーツ交流ゾーンの基盤整備の実施計画と造成・排水工事など博覧会の主会場となる多目的ドームの基本・実施計画がたてられる予定です。

○阿知須干拓地自然観察公園（仮称）整備事業（県予算：7億2,000万円）…基盤整備事業とビクターセンターの実施設計が近くまとまる予定です。

○町道「都市計画街路縦貫線」「海岸線」県道「山口・阿知須・宇部線」工事…平成12年の完成を目指し、工事は順調に進んでいます。



●博覧会推進事業（町予算：652万円）…開催日までの残日表示計やプレイベント、PRなどを行います。



平成10年度の予算

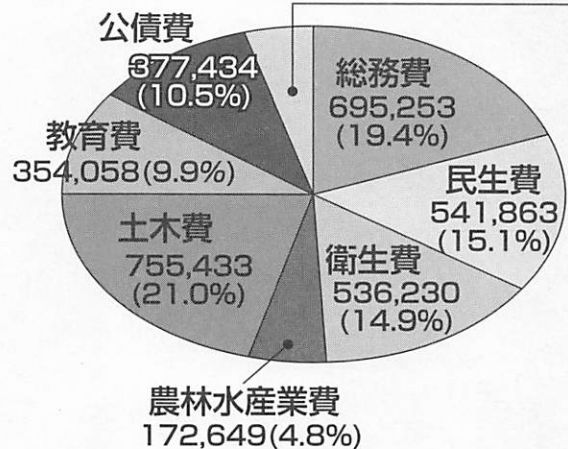
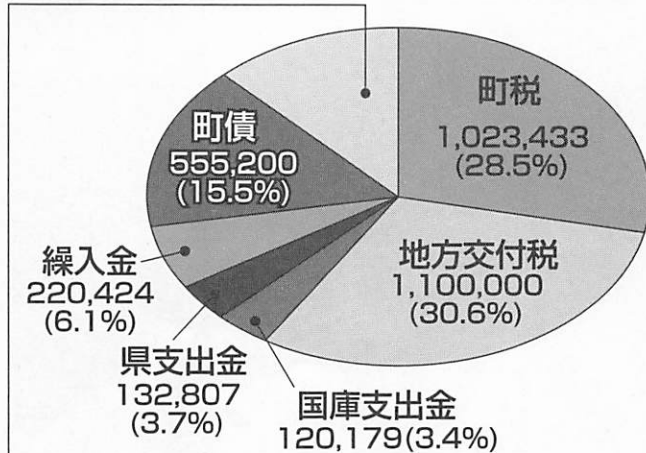
3月の定例議会で承認された平成10年度の当初予算をご覧ください。

一般会計 35億8,935万円

歳入

※単位は千円、()内は構成比

歳出



●その他 437,307(12.2%)

・地方譲与税	33,800	・利子割交付金	10,000
・地方消費税交付金	78,000	・ゴルフ場利用税交付金	80,000
・特別地方消費税交付金	5,000	・自動車取得税交付金	31,000
・交通安全対策特別交付金	1,100	・分担金及び負担金	47,698
・使用料及び手数料	25,720	・財産収入	20,474
・寄付金	7,704	・繰越金	1
・諸収入	96,810		

●その他 156,430(4.4%)

・議会費	90,823
・労働費	3,935
・商工費	21,166
・消防費	34,061
・災害復旧費	1,445
・予備費	5,000

過去4年の当初予算



過去4年の当初予算の状況をみると阿知須小学校校舎建設事業のあった平成7年度は突出していますが、全体的に微増傾向にあるといえましょう。

ことしの予算は、前年度と比べ9.1%増と、博覧会に向けて積極的な予算となっていますが、補助金の削減や義務的経費の抑制など財政の見直しも怠っていません。

特別会計

国民健康保険事業	653,060 千円
老人保健	1,307,067 千円
交通災害共済事業	3,803 千円
同和福祉援護資金貸付事業	2,244 千円
土地取得	65,399 千円

水道事業会計

収益的な収入と支出

収入	253,388 千円
支出	253,388 千円

資本的な収入と支出

収入	134,600 千円
支出	170,403 千円

町立あじす保育園スタートへ

保育サービスの向上をめざし **砂郷 岩倉** 統合

町は、町立砂郷保育園と町立岩倉保育園を統合。4月から「町立あじす保育園」としてスタートしました。園舎は砂郷保育園の建物を引き続いて使いますが、2年後には町勤労者体育センター北側の田を埋め立てたところに新しい園舎ができる予定です。



●町立保育園の歴史

本町の保育園の歴史をみると、昭和二十九年七月ちどり保育園を設置、三十一年十二月に第二ちどり保育園を岩倉区に。その後、三十四年四月から砂郷保育園、岩倉保育園となり今日に至りました。

卒園生が合計千八百二十七人（今春卒園生二十一人名含む）そのうち岩倉保育園は六百十六人（同七人）です。

保育の状況はことし三月一日現在、砂郷保育園が計六十九人、岩倉保育園が計二十人でした。

新年度の園児は五歳児二十一人、四歳児二十六人、三歳児十八人、二歳児以下十五人で、計八十人です。

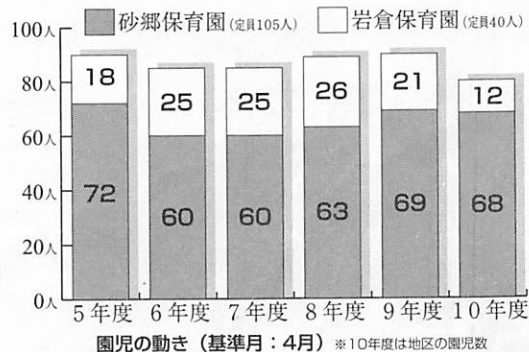
四月からは新しい体制でスタートし、園児は生後六か月から小学校に上がるまで計八十人です。しかし、乳児については年度なかばでふえる可能性があり最大時は二十人程度を見込んでいます。

町立あじす保育園の発足時の職員は、園長（女子・保育有資格者）・主任保育母二人、保育母六人、栄養士一人です。

これまでは、砂郷保育園に



保育助手を毎日三人、岩倉保育園に給食調理員一人をパートで雇っていました。
保育母一人が担当できるのは四〜五歳児三十人、三歳児は二十人まで。乳児はこれまで六人でしたが、四月からは三人以下となりました。



●統合の理由

統合に踏み切った理由は：

①近年、出生児が減り、兄弟姉妹が少なくなった。少数の保育より多数のほうの子どもの将来のためにより。

②早朝から夕方遅くまで保育園で預かってほしいという要望がふえている。

③乳児の保育はこれまで保母一人が六人まで担当できたが四月からは一人が三人までという国の方針が示された。

④保育の理由が明確でない者を預かれれば幼稚園の分野を侵すおそれがある。また、税金を使って保育すること疑問がある。

⑤四月から小学校三年生以下の学童保育に当たる。これがかぎっ子対策を拡充する。など保育サービスの充実をめざすため、総合的に検討しました。

加えて、保育園や福祉施設の新築、博覧会開催のための諸施設設備にかかる経費負担など財政的な問題もあります。それらに対して町財政の効率的運用が大きな課題でもあ

ります。町議会もそれらを理解され、「町立あじす保育園」に関する条例を賛成多数で可決、一方、岩倉保育園存続のための請願は不採択となりました。

●統合の経緯

統合にあたって、町では地元理解を得るため、昨年十二月に園児の保護者と四回説明会や話し合いをしました。その中で要望事項は改善、対

応を約束し、地区の理解を得てほしいとの声もあつて二月八日の岩倉、旦地区のそれぞれの総会に出向いて説明し、ご理解をいただくよう努めました。総会ではいずれも異論がなくご理解いただいたものと判断し、二月十六日、保護者と最後の話し合いをし、統合に踏み切りました。

●苦渋の選択

この統合には、ご不満の人がおられること、請願の意義など、町としては十分心得ています。しかし、町全体、そして将来を考えると、ここでの決断がどうしても必要でした。

早朝保育・延長保育・乳児保育などの充実、その他、いろいろな要望にあわせて保育サービスの向上させ、たくましい阿知須の子の育成について、一層努めますので、ご理解をお願いいたします。

かぎっ子を学童保育

小学校低学年対象に四月から

小学校低学年のかぎっ子対策として町では新学期から「学童保育」を始めました。施設は阿知須小学校南校舎の三階を使い、日曜・祝祭日は休みですが、あとの日は原則をして開所することになっています。運営は町社会福祉協議会に委託、女子の指導員二人が小学校三年生以下の児童を預かります。

ここで預かる児童は、昼間親が働きに出るため放課後、家に帰っても誰もいない状態の家庭の子どもです。しかも小学校三年生以下。町では、学校を通じて、また、広報紙などで通所者を募集しました。その結果、七人の利用希望がありました。

指導員については、ここが託児所のような施設であるため、特に資格はいりませんが、公募して面接の結果、三十代後半と、二十代なかばの女性二人を選任し

ました。このうち一人は中学校家庭科教諭と司書の有資格者、もう一人は保母資格をもち、学童保育に携わってきた人です。三月には宇部市内の学童保育を実施している施設で研修、四月からの開所に備えました。

この利用に当たっては一部、保護者負担がかります。その代金は毎月二千五百円とおやつ代が千五百円で計四千円。その他傷害保険料が年額三千八百円です。

通所希望者は町住民課へお申し出ください。所定の申込書や家の人が働いておられるという証拠に保護者の源泉徴収票などが必要です。

■問い合わせ 町住民課福祉係 (TEL 65-4111 (内) 163 (有) 2132)



岩倉地区の文化祭でのおゆうぎ





はり、きゅう施術費 割引証の更新を

現在使っておられる割引証は有効期限が三月三十一日までとなっています。

まだ更新の済んでおられない場合は、町環境保健課国民健康保険係 (TEL 65-4111 (内) 153 (有) 2122) で手続きしてください。

■持参するもの

- ・割引証
- ・国民健康保険証
- ・印かん (みとめ印)

水道検針員募集

町水道課では、四月から次のとおり水道検針員を募集します。

■対象者 六十五歳以下の町内在住者で、男女を問わず、心身とも健康な人で原付以上の運転免許所有者

■募集人員 若干名

■内容 水道メーターの検針 (検針員傷害補償制度あり)

■申し込み・問い合わせ 四月二十日(月)までに履歴書を町水道課 (TEL 65-4111 (内) 131 (有) 2141) まで提出してください。

ポリオ予防接種

町では、生後三か月から七歳六か月未満児を対象に、ポリオ生ワクチン投与を行います。

■日程 四月二十二日(水)

■受付時間 午後一時三十分から二時まで

■料金 無料

※なお、接種後は会場で三十分間、健康状態を観察しますので、ご協力をお願いします。

■問い合わせ 町環境保健課 (TEL 65-4111 (内) 151 (有) 2122)

ポリオワクチン 追加接種

昭和五十年から五十二年に生まれた人は、ポリオの免疫を保有している人の割合がほかの年齢層に比べて低いことが、厚生省の調査でわかっています。ポリオウイルス常在国に渡航される時、お子さまがポリオワクチン接種を受ける時に再度ポリオワクチンの予防接種を受けられることをお勧めします。

ただし、この予防接種は、法律に基づくものではないので、自費で受けることになります。

■最寄りの医療機関 山口県立中央病院医事課医事業務係 (防府市大崎77 TEL 0835-2214411)

■問い合わせ 町環境保健課 (TEL 65-4111 (内) 151 (有) 2122) または医療機関へ



町職員人事異動

(四月一日付)

※△は新職「」内は旧職

管理職 (課長・課長補佐)

▽保育園長 松代俊子「砂郷保育園主任保母」▽農林水産課長 西村敏之「建設課都市計画係長」▽建設課長 村重萬喜男「農林水産課長」▽建設課長 同格兼都市計画係長 松崎宏克「同課長」▽出納室長 筒井信「保育園長」▽教育委員会総務課長 西田祐治「出納室長」▽企画振興課長補佐兼企画係長 (兼 博覧会推進担当総括) 山田隆司「住民課福祉係長」

係長級

▽企画振興課広報情報係長 (兼 博覧会推進担当) 橋本敦義「同課同係長」▽企画振興課商工観光係長 (兼 博覧会推進担当) 網田誠「同課同係長 (総括)」▽住民課戸籍住民係長 天野和成「建設課管理係長」▽住民課福祉係長 田中克也「同課戸籍住民係長」▽あじす保育園主任保母 小松栄「岩倉保育園主任保母」▽あじす保育園主任保母 中村洋子「教育委員会総務課総務学校教育係」▽建設課管理係長 中野康世「企画振興課企画係長」▽宇部阿知須公共下水道組合派遣 安田一利「企画振興課商工観光係長 (商業集積担当)」

係級

▽議会事務局 山田重子「税務課賦課徴収係」▽企画振興課企画係兼商工観光係 (兼 博覧会推進担当) 中村定博「税務課固定資産税係」▽企画振興課広報情報係 (兼 博覧会推進担当) 吉山俊章「同課同係」▽企画振興課商工観光係兼企画係 (兼 博覧会推進担当) 内田恵美「同課企画係兼商工観光係」▽税務課賦課徴収係 春吉忠「教育委員会生涯学習課生涯学習係」▽税務課賦課徴収係 塩見幸子「環境保健課国民健康保険係」▽住民課福祉係 竹内三雄「環境保健課保健衛生係」▽あじす保育園 長久享子「砂郷保育園」▽あじす保育園 西村智子「砂郷保育園」▽あじす保育園 吉村啓子「岩倉保育園」▽あじす保育園 上杉享子「砂郷保育園」▽あじす保育園 田辺宣子「砂郷保育園」

遊びにきませんか、いきいき広場へ

町では、おおむね六十歳以上の人を対象にいきいき広場を開催します。

気の合う仲間と一緒に楽しく活動して、いきいきとした生活を送りましょう。

■日時 毎月第二火曜日 午後一時三十分～三時三十分

■場所 社会福祉センター

■内容 レクリエーション、体操、手工芸など

■指導員 町保健婦、町社会福祉協議会職員

■料金 無料

■申し込み・問い合わせ 町環境保健課 (TEL 65-4111 (内) 1551 (有) 2122)

自衛隊幹部候補生募集

自衛隊では、幹部候補生(一般、飛行、技術)の採用試験が行われます。

■資格 二十二歳以上二十六歳未満の人。ただし大学院修士課程修了者(見込者も含む)は二十八歳未満の人。

■受付期間 四月八日(水)～五月十五日(金)

■試験日 六月六日(土)ただし飛行要員は加えて七日(日)

■試験場所 航空自衛隊防府南基地

■問い合わせ 自衛隊宇部募集事務所 (TEL 31-4355)

重度後遺障害者介護料支給のご案内

自動車事故対策センターでは、自動車事故によって頭部または脊髄に損傷を受け、重度の後遺障害を残し、常時介護を必要とする人に介護料を支給しています。

■申請者 介護が必要な人の法定代理人または現に扶養している人。

■介護料 一日につき四千元(自宅で介護の場合は二千元)支給

■支給期間 申請書が受理された日から介護料を支給すべき理由が消滅した日まで

■申し込み・問い合わせ 自動車事故対策センター山口支所業務課 (TEL 0839)

124-5419

恩給などの受給者が福祉定期郵便貯金の対象者に

郵政省では、福祉定期郵便貯金の対象者の拡大を行うことになりました。新たに対象者として追加されるのは、恩給法による障害給付および遺族給付ならびに援護年金の受給者です。なお、郵便局以外の金融機関は対象となりません。

■対象貯金 預入期間一年の定期郵便貯金

■取扱期間 平成十一年二月二十八日まで

■貯金の利率 年四・一五%

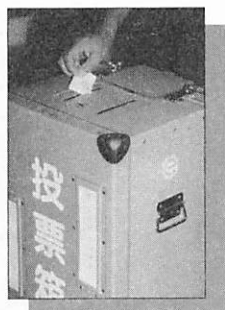
■預入限度額 三百万円

■手続き 恩給または援護年金の証書および印かんを郵便局の窓口を持参

■問い合わせ 阿知須郵便局 (TEL 65-2100)



町議会議員選挙 8月30日投票日 (8月25日告示)



町選挙管理委員会は、9月19日に任期満了の町議会議員選挙の日程を8月30日投票日と決めました。

この選挙は、このたび改正された公職選挙法により行われます。定数は16人。

なお、改正の内容と立候補予定者説明会の日程は、町広報6月号で詳しくお知らせします。

▽あじす保育園 縄本恭子「岩倉保育園」▽あじす保育園 角友理恵「砂郷保育園」▽環境保健課保健衛生係 大原仁「税務課賦課徴収係」▽環境保健課国民健康保険係 村長正悟「農林水産課農林水産係」▽農林水産課農林水産係 国重勝己「農林水産課地係」▽農林水産課耕地係 山本裕英「建設課都市計画係」▽建設課都市計画係 江口力「県都市計画課派遣」▽教育委員会総務課総務学校教育係 日比由美子「住民課福祉係」▽教育委員会生涯学習課生涯学習係 松岡茂「教育委員会生涯学習課生涯学習係」▽教育委員会生涯学習課生涯学習係 小林和浩「宇部阿知須公共下水道組合派遣」▽県博覧会協会派遣 金田貴之「議会事務局新規採用職員」

▽税務課固定資産税係 中村拓也▽環境保健課環境整備係 西田浩一▽教育委員会給食センター 伊藤静子

県派遣職員

▽企画振興課主幹 平川雅昭「県税務課監査係長」▽県地域振興課長補佐 藤山泰司「企画振興課主幹」

退職者(三月三十一日付)

▽縄田信雄「教育委員会総務課長」▽伊藤愛「教育委員会学校給食センター」

生涯学習だより

生涯学習課【町公民館内】

☎65-2022 (有) 4892



発掘調査説明会

生涯学習ボランティア養成講座 第二期生募集（受講料一部免除）

町教育委員会では、平成八年度から文部省認定通信教育「生涯学習ボランティア養成講座」を開講しています。

近年、ボランティア活動が盛んになってきました。二〇〇一年に「二十一世紀未来博覧会」が開催されますが、その中でもボランティア活動は重要な役割を果たすと考えられ、町民のみなさんの活躍が期待されます。

この講座は、これらのボランティア活動や生涯学習活動の基礎となる「生涯学習ボランティア」についての正しい理解と、人との出会い・ふれあいを大切にすることを基本とした明るいまちづくりに役立てていただくことと企画したものです。これまで本町では二十三人が学習しています。本年度は第三期生を募集します。

一日三十分から一時間程度

の余暇時間を活用し、マイペースの学習で「生涯学習ボランティア」としての必要な知識・技能が体系的に習得できます。

また、町公民館で月一回の集合学習を通して相互交流の場も用意しています。

楽しみながら学習し、その成果を身近なところから役立てることができたらすばらしいことだと思います。

●**応募資格** 町内在住、在勤の人でボランティアとして活動する意欲のある人

●**受講方法**
(1) 通信教育を利用した自宅学習
(2) 月一回、町公民館での集合学習

●**通信教育の内容**
・生涯学習ボランティア活動

・生涯学習の方法

・学習メニューとプログラム
・生涯各期の学習と教育 など

●**受講期間** 六月～十二月

●**受講料** 四万四千元（町が一部補助します）

●**定員** 十人

●**申し込み** 五月一日(金)までに町公民館の備え付けの申込用紙に記入し、申し込んでください。ただし、定員になり次第締め切ります。

●**問い合わせ** 町公民館（TEL 65-2022(有)4892）



山口県生涯教育センターからのお知らせ
生涯学習活動グループ助成事業の応募者募集中!

県生涯教育センターでは、県内のさまざまな生涯学習グループに、活動費の一部を助成します。

●**対象者** 県内の生涯学習活動グループ

●**対象事業**

①芸術・文化活動の促進

②生涯学習ボランティア活動の促進

③スポーツ・レクリエーション活動の促進

④男女共同参画社会の実現をめざした学習活動の促進

⑤人間性を育むための家庭・地域での学習活動の促進

⑥その他生涯学習活動の促進

●**募集期間** 四月末日まで

●**交付決定** 五月下旬

●**助成金額** 原則として経費の二分の一を限度に、一件あたり最高額二十万円の範囲内

●**問い合わせ** 県生涯教育センター（TEL 0839-23-325）

<老人福祉施設>

Q. 70歳の父がねたきりで、65歳の母が介護しています。私たち夫婦は共稼ぎで、母が父の世話ができなくなったときのことが心配です。老人関係の福祉施設について教えてください。

A. 老人保健施設はおおむね次のとおりです。

①特別養護老人ホーム

原則として65歳以上で、ねたきりなど心身に著しい障害があるために、常時介護が必要だが居宅で介護を受けることが困難な場合。負担能力に応じて費用負担があります。申し込みは町住民課福祉係へ。

②養護老人ホーム

原則として65歳以上で、心身の状況や環境上および経済的理由によって、居宅での生活が困難な場合。負担能力に応じて費用負担があります。申し込みは町住民課福祉係へ。

③軽費老人ホーム

60歳以上の人で、家庭や住宅の事情などにより、居宅での生活が困難な場合。この軽費老人ホームには、食事サービスがあるA型と、原則として自炊のB型、そしてケアハウスがあります。ケアハウスは、身体機能が低下していて、独立して生活するには不安が認められ、家庭の援助が困難な人で入所者の生活相談、入浴、食事などのサービスが受けられます。また、これらのホームは原則として個室（夫婦部屋もあります）です。入所は、直接施設に申し込んでください。なお、本町には有勲荘（TEL65-2929）があります。

④老人保健施設

病状が安定期にあり、入院治療する必要はないが、リハビリテーション、看護・介護が必要なねたきりの高齢者などが、必要な医療ケアと日常生活サービスを受け、家庭復帰をめざす場合。病院と家庭の中間的な施設です。入所は、直接施設に申し込んでください。なお、本町にはニューライフあじす（TEL65-5077）があります。

⑤有料老人ホーム

高齢者が施設の設置者との契約により、全額自己負担で、給食、健康管理などのサービスを受ける場合。入所は、直接施設に申し込んでください。

※①と②の入所判定は、町老人ホーム入所判定委員会の審議を経て決定します。

モノが語る

阿知須の歴史

その8. 春を呼ぶ道具石斧

厳しかった寒さも去り、いよいよ春ですね。

この季節になると、外に出るのも楽しいですよ。何しろ野山は花であふれていますから。

花だけでなく、木の若芽を摘んで食卓を賑わすこともできますね。口いっぱい春の味が広がりますから。何？今では春の味は一年中味わえる？でも、何と言っても自然の野山でとれた春の味は本物の味ではないでしょうか。

あいさつが遅れましたが、私は石斧です。と言うよりは、石斧と呼ばれていると言った方が正確ですね。聞くところによると、今から百年以上も昔の人たちが、私たちの仲間を石斧と呼ぶようにしたそうで、今でもそのように呼ばれることが多いですね。

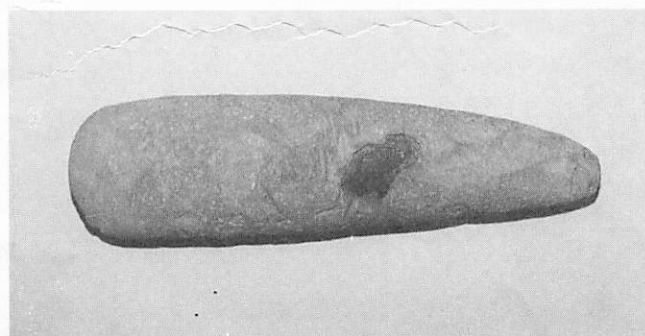
私の年齢？あまりにも歳をとったので正確に言う自信はないのですが、2400？2500歳だったか、そのくらいですね。

何でも今の考古学者は、私が生まれた頃を縄文時代と呼ぶのだそうですね。固い石を割り、そして磨いて私はつくられました。岩石の専門家に聞くと黒色頁岩と呼ぶそうです。

昔は仕事の合間につくったのだと言う人がいたようですが、そうではなく石を割り磨いて作る専門の仕事の人がいたのですよ。

春になると、いよいよ私たちの出番でした。春の種まきの準備で、畑を耕すのですよ。

石斧と言われる石器ですから、木を切り出したり、削ったりしたように思われるでしょう。それもありますが、私は畑を耕す、今の鍬の仕事の方が主な仕事なのです。縄文時代には農耕はないと習った？実は私たちを使って畑を耕していたのですよ。



丸塚遺跡の石斧（長さ19cm、重さ420g）

「ふれあい広場」は
みなさんのページ
です。
町政への提言や身
近な話題、絵画、写
真など町企画振興課
(☎65-4111
(有)2144)へお寄
せください。



小中学校の卒業式

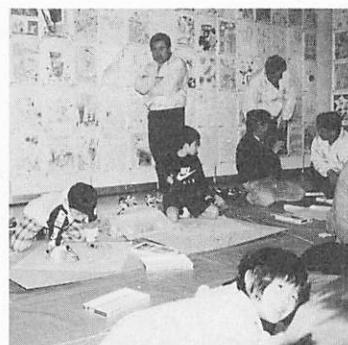
3月11日に町立中学校、20日に町立小学校の卒業証書授与式が行われました。卒業生は阿知須小学校67人、井関小学校34人、阿知須中学校112人でした。



井関小学校での卒業式

未来の絵、凧づくり教室

3月22日に、サンパークあじすで凧づくり教室



が行われました。これは、未来の絵凧揚げ大会の一環として行われたもので、未来の絵が一面に貼られた会場で子どもたちは指導者に手伝ってもらいながら凧を作っていました。

未来の絵に囲まれて凧づくり

少年少女サッカーフェスティバル

3月22日に阿知須干拓グラウンドで第5回AJISU CUP少年・少女サッカーフェスティバルが行われ

井関サッカー男子の試合



ました。本町からは井関サッカースポーツ少年団が出場しました。

死亡叙勲

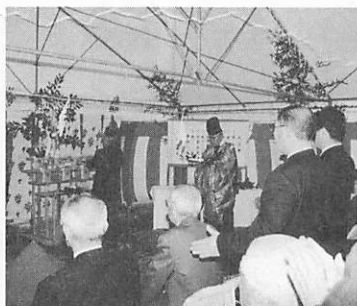
昨年12月に76歳で亡くなられた上野道宣さん(岩前)に勲五等瑞宝章が贈られました。上野さんは、昭和17年に県国民学校訓導として勤め始め、宇部市立琴芝小学校の校長として教職を去られるまでの間に地域の教育振興に寄与されたとしての死亡叙勲です。



勲記を胸にアイ子さん

干拓工事安全祈願祭

3月20日に阿知須干拓地造成工事の北第五工区の安全祈願祭が行われました。これは、しゅんせつ土の吹き込み工事が終わり、その上を土砂で覆う工事の安全を祈願して行われたものです。場所はセンター道路海側の北側(山口市寄り)です。



神事のように

西日本ゲートボール大会

3月22、23日の2日間、阿知須干拓グラウンドでセンチュリー21アジスドリーミングランド杯西日



本親善ゲートボール大会が行われました。出場は全72チーム。本町から出場した「海岸通り」チームはみごと優勝を果たしました。

それ「あがり」だっ

善意はここに

[町へ]

—広報送料—

●縄村節子さん（東京都江戸川区）

[町社会福祉協議会へ]

—篤志—

●深野雅祐さん（小南）お礼を●匿名 報酬を●匿名（防府市）●井関小学校 謝恩会残金を●谷本眞喜子さん（仙在）●匿名（292回）

—香典返し—

●故夫 森重 皆雄さん（森重フジコさん・杖 川）
●故母 米澤サツキさん（米澤 元雄さん・砂 三）

よろこびかなしみ

3月24日受付分まで 届け出順・敬称略

出生（おすこやかに）

氏名	親の名	月・日	住所
深野 良留登	朋 久	2・21	飛石
齊藤 友哉	正 行	2・24	赤迫
三木 雄太	琢 也	2・25	前山
坂野 仁紀	和 弘	2・26	飛石
廣重 貴彦	郁 彦	3・10	二の宮
宮地 真由	功 二	3・14	砂一

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	死亡月日	年齢	住所
兼田 裕典	3・3	81	赤迫
二宮 敏雄	3・3	88	白松苑
米澤 サツキ	3・6	93	砂三
中島 傳重	3・8	76	河内
上野 キクノ	3・9	94	白松苑
山野 幹男	3・12	76	旦北
藤岡 忠之進	3・20	88	岩西

西祝コミュニティセンター完成

3月22日にあじすの宝箱づくり事業第二弾の西祝コミュニティセンターが完成しました。式典の後、餅まきが行われました。



餅まきのようす

教職員人事異動

※▽は新職 [] 内は旧職（敬称略）

転出（4月1日付）

▽町教育委員会生涯学習課長同格（社会教育主事）
本原浩一〔阿知須小学校教諭〕▽平川小学校教諭
白岡太〔井関小学校教諭〕▽小野田中学校教諭 藤
井貴子〔阿知須中学校教諭〕▽湯田中学校教諭 静
間徹〔阿知須中学校教諭〕▽須金中学校教頭 竹中
英夫〔阿知須中学校教諭〕

転入（4月1日付）

▽阿知須小学校教諭 平田修〔小郡小学校〕▽井関
小学校校長 市川洋一〔勝間小学校教頭〕▽井関小
学校教諭 長安康憲〔佐波小学校教諭〕▽阿知須中
学校教諭 橋本宏〔宇部養護学校〕▽阿知須中学校
教諭 重富裕子〔住吉中学校教諭〕▽阿知須中学校
教諭 吉田美智子〔桜田中学校教諭〕▽阿知須中
学校教諭 足達滋〔パンコク日本人学校教諭〕▽阿知
須中学校養護教諭 原田文子〔秋穂中学校養護教諭〕

退職（3月31日付）

▼金山政秋〔井関小学校校長〕▼内田美子〔阿知須
中学校養護教諭〕

あらまへ

▼新年度に入りました。県が準備を進めていた「21世紀未来博覧会協会」が正式に発足、あと三年三か月後の開催に向けて本格的に動き出しました。町は同協会に若い男子職員を一人派遣、企画振興課も博覧会推進体制を整えてのスタートです。

▼三月町議会で町議会議員の定数を二人減らして十六人とすることが決まりました。現議員は、ことし九月十九日まで四年間の任期満了となりますが、その選挙から適用です。町長、助役などの報酬（給料）は二年ごとに町特別職報酬等審議会の答申を経て改正することになっています。今回も引き上げの答申がありました。が、教育長を含め辞退させていただくなど、それぞれの分野で時代に応じた対応などを進めています。その中で新年度の町一般会計予算は前年度比九・一％伸びの積極型です。ちなみに県下五十六市町村の平均は一・〇％の減。

町民カレンダー

4

April

●役…町役場 ●公…町公民館 ●体…勤労者体育センター ●阿小体…阿知須小学校体育館
●阿中グ…阿知須中学校グラウンド ●干拓グ…干拓グラウンド ●社福セ…社会福祉センター

日	月	火	水	木	金	土
		ケーブルテレビ<12ch> 「阿知須町からのお知らせ」 放送時間（4月6日からの放送） 毎日①8:15 ②13:15 ③18:15 ④23:15			3	4
		7 育児相談(役、 前10時)	8	9	10	11
12	13	14 健康相談(役、 前10時)いき いき広場(社福 セ、後1時30分)	15	16 心配ごと相談 (社福セ、前10時)	17	18
19 第41回町民運動 会(阿中グ、前8時 30分)	20	21	22 ポリオの予防 接種(公、後1時 30分)	23 ボランティア 活動の日(社福 セ、前10時)	24	25
26	27	28	29 みどりの日	30	1	2

MEMO

今月の納税

- 固定資産・都市計画税
- 軽自動車税



人 の 動 き

住民登録

(平成10年3月31日現在)
 人口……………8,567人
 男……………4,017人
 女……………4,550人
 世帯……………2,843

3月の動き

(平成10年3月31日現在)
 出生……………7人
 死亡……………9人
 転入……………83人
 転出……………62人
 前月との差引…+19人

●平成7年国勢調査●

人口/8,300人 世帯/2,585